



能登やさしいこめづくり情報

令和7年4月
能登米振興協議会
能登米生産者協議会
能登南部営農推進協議会
J A は く い

田植え編

健苗を植え、初期分けつを確保しましょう！

1 健苗の準備

〔計画的な播種で、健苗育成に努めましょう〕

- 田植え後の活着や初期分けつの発生を促すため、健康な苗(右図)を田植えしましょう。
- 種もみの中に養分の残っている状態の葉数(葉齢)が3枚(3葉期)に達する前に田植えをすることが大切です。
⇒ 老化苗(育苗日数が長く、葉齢が進んだ苗)では、活着が遅れ、初期分けつの発生が遅くなり、優良茎の確保が難しくなり、未熟粒による品質低下や減収に繋がります。
- 田植えの4~5日前からは夜間もハウス側面を開放し、外気に慣らしましょう(順化)。

2 代かき作業について

- 代かき作業は、田植え日や除草剤散布日を考慮し、計画的に実施して下さい。
- 環境に配慮した能登米生産にあたり、代かきによる濁水の河川流出を防止しましょう。
 - 畦が崩れていたり、穴などの漏水箇所は早めに補修しましょう。
 - 浅水での代かき作業を実施し、代かき濁水は排水しないようにして下さい。
 - 田植え前の「強制落水」は避けて下さい。

3 田植え作業について

- 植付本数 : 3~4本/1株 ⇒ 太植えは、過繁茂を助長します。
- 栽植密度 : 60~70株/坪以上 ※極端な疎植は避けてください。
- 植付深さ : 2~3cm(第1葉が見える程度)の浅植え
⇒ 深植えでは、分けつや根の発生が遅れます。
- 水管理 : 活着後は浅水管理(2~3cm)を基本とし、低温が予測される日や風が強い日のみ一時的に深水管理とします。
(天候回復後は速やかに浅水管理に戻して下さい。)

- 田植え前には、田植機の栽植密度、植付け深さの設定を確認しましょう。

4 基肥施用について [能登米コシヒカリ：化学窒素分量7kg/10a以下]

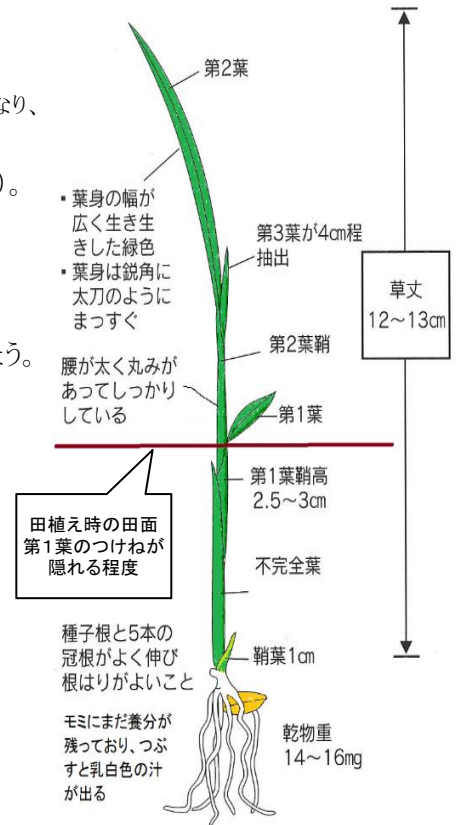
- 基肥一発肥料は全層施肥の場合、代かき直前に行い、代かきから田植えまでを5日以上空けないようにして下さい。
(施用日から田植日の日数が開くと、肥料の溶出パターンと稲の生育がズレるため、倒伏や品質低下を招きます。)

施肥体系	肥料名	施用量(kg/10a)	
		能登米コシヒカリ	ゆめみづほ等(早生)
基肥一発	BB 有機入り能登コシー発 NEO	20~30(上限)	—
	BB けい酸パワー・コシー発くん	40~55(上限)	—
	BB 里山の香	45~53(上限)	—
	BB 早生一発くん NEO	—	30~40
	BB 早生一発くん DX28	—	35~40
分施体系	BB 高度056号	20~28(上限)	35

※ 施用量は目安です。ほ場の地力に応じて、加減して下さい。

※ コシヒカリは、化学窒素分量を3割削減した能登米栽培のため、施用量の上限を厳守して下さい。

田植え時の良い苗



5 病害虫防除について

◆ 苗箱施薬剤の散布について

- ・ イネミズゾウムシ、イネドロオイムシなどの初期害虫や葉いもちの予防のため、箱剤を施用して下さい。



イネミズゾウムシ



葉いもち

薬剤名	散布時期	散布量	主な対象病害虫
Dr.オリゼリディア箱粒剤 (2成分)	田植え 3日前 ～当日	50 g/箱	いもち病、白葉枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ、イネヒメハモグリバエ、イネカラバエ、フタオビコヤガ、ウンカ類、イナゴ類、イネツトムシ

※ 葉が濡れていない状態で均一に散布し、葉に付いた薬剤は払い落して下さい。

6 除草剤の使用について

- ・ 雑草は代かき直後から発生し始めます。除草剤の使用時期を守り、かつノビエの適用葉齢を遵守し、散布して下さい。
- ・ 湛水散布する除草剤の有効成分は、一旦水中に溶解した後、徐々に土壌表面に吸着され、除草効果を発揮します。散布後3～4日間(処理層が形成・安定する時間)は湛水状態(4～5cm)を保ち、散布後7日間は落水やかかけ流しはしないで下さい。
- ・ 田植同時処理除草剤を散布した場合は、田植え後直ちにゆるやかに入水し、湛水状態(4～5cm)を保ちましょう。

● パターン1：初中期一発処理

成分数	除草剤名	使用時期	
2	ブライオリティ1キロ粒剤	田植同時～ノビエ3.5葉期	
	ポデーガードプロ1キロ粒剤		
3	サラブレッドKAI1キロ粒剤	田植同時～ノビエ2.5葉期	
	ジェイソウル1キロ粒剤		
	ゴエモン1キロ粒剤		
	ディオール1キロ粒剤		田植同時～ノビエ3.0葉期
	アップレZ1キロ粒剤		
ジャスタ1キロ粒剤	田植同時～ノビエ3.5葉期		

● パターン2：体系処理（初期剤＋中期剤）

成分数	除草剤名	使用時期
1	マーシェット1キロ粒剤	田植同時～ノビエ1.0葉期
2	クラール1キロ粒剤	田植同時～ノビエ1.5葉期
	かねつぐ1キロ粒剤	田植同時～ノビエ1.5葉期



成分数	除草剤名	使用時期
2	ワイドショット1キロ粒剤	田植後15日～ノビエ4.0葉期
	ニトウリュウ1キロ粒剤	
3	ブイゴールSM1キロ粒剤	田植後15日～ノビエ3.5葉期
	ウィードコア1キロ粒剤	田植後7日～ノビエ4.0葉期

● パターン1、2ともに残草や後発生があった場合、

ノビエ

成分数	除草剤名	使用時期
1	ヒエクリーン1キロ粒剤	田植後15日～ノビエ4.0葉期
	クリンチャー1キロ粒剤	田植後25日～ノビエ5.0葉期

広葉雑草

成分数	除草剤名	使用時期
1	バサグラン粒剤	田植後15日～

ノビエ、広葉雑草

成分数	除草剤名	使用時期
1	アトリ1キロ粒剤	田植後14日～ノビエ4.0葉期
	ロイヤント乳剤	田植後20日～ノビエ5.0葉期

※ 能登米コシヒカリに使用できる除草剤の種類は指定されています。上記に記載された剤は使用可能です。

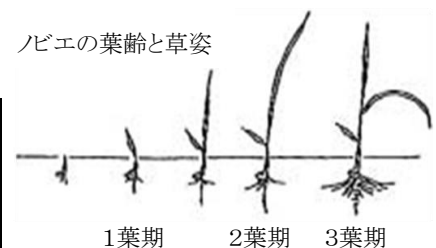
他に指定される剤は営農ごよみ等を確認してください。

※ 「能登米コシヒカリ」以外の品種は除草剤の指定はありません。

(参考)代かき後日数とノビエの葉齢の関係

※ 5月1日に代かきを行った場合で平年の有効積算温度により試算

ノビエの葉齢		1.0 葉齢	1.5 葉齢	2.0 葉齢	2.5 葉齢	3.0 葉齢
代かき後の日数 (平年の場合)	羽 昨	8日目	12日目	16日目	19日目	22日目



ノビエの葉齢と草姿

1葉期 2葉期 3葉期

7 補植について 〔補植苗はいもち病の発生源となるため、すぐに処分〕

- ・ 連続した欠株がない場合は、補植は不要です。隣接株が大きく育ち、欠株分をカバーするため減収にはつながりません。やむを得ず補植する場合は、除草剤を散布する前に実施して下さい。

⇒ 散布後では、除草剤の薬害により補植苗の生育抑制や枯死、足あと部分からの雑草発生の原因になります。

- ・ 補植用の活け苗は、いもち病の発生源となるので、補植作業後は速やかにほ場から撤去して下さい。